

【例題－管理栄養士 5】

「日本人の食事摂取基準（2015年版）」で設定されている耐容上限量に関する次の記述のうち、正しいのはどれか。

1. 耐容上限量は、理論的には、LOAEL よりも高く NOAEL よりも低い値である。
2. 耐容上限量は、具体的には、NOAEL を 100 から 1000 までの適当な値で除して算定されている。
3. 耐容上限量は、不確実性を十分に見込んだ値が設定されているので、栄養素の摂取量が増加して耐容上限量に接近することを回避しようとする必要はない。
4. 耐容上限量は、健康の保持・増進、生活習慣病の発症予防を目的として設けられた指標ではない。
5. 耐容上限量を超える量の栄養素を摂取し続けたときに、健康障害が生じるまでの典型的な摂取期間は、数日～2週間程度である。

(正答) 4